

ちくさええとこ通信

2023.9.15 発行

No.25

納涼 妙見夏まつり



『第55回妙見夏まつり』

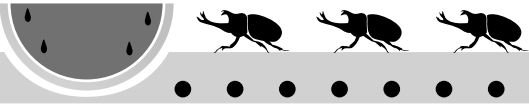
「第55回妙見夏まつり」が無事に開催できましたこと、誠に感謝しております。皆様、お楽しみいただけましたでしょうか。

数年ぶりの開催ということで、私たち実行委員会も皆様の心に残る夏まつり、そして思い出に残る行事となるようにと準備に励みました。夏まつり当日は天気も良く、たくさんの方にご来場いただいたこと、本当に嬉しく思います。

来年度も夏まつりが開催できるよう皆様のご協力よろしくお願いいたします。

最後になりましたが、夏まつりへご協賛いただきました皆様、本当にありがとうございました。

妙見夏まつり実行委員会 実行委員長 堂元 篤志



ちくせ杉の子こども園

一宮にあるカブトムシドームに3・4・5歳児が招待していただきました。

この体験から、5歳児は園にカブトムシドームを作ることになり、まずはカブトムシ制作!! ペアで設計図を描き、作りました。ドームは、自分が作りたいコーナーにわかれてグループで制作をしました。ペア活動、グループ活動と様々な取組で完成したカブトムシドーム。素晴らしい完成度に2・3・4歳児は大喜びでした。



ヘラクレスオオカブト
(海外のカブト) 大きいねえ～



仲良く相談しながら
描いています



つなわたり



「はっけよ～い
のこった!!」



カブトムシが
かかっているよ!

わ
れ
ら
ち
く
せ
杉
こ
ども

ちくさを学ぶ ちくさで学ぶ

「ちくさの人やもの」とかかわって学び
「ふるさと千種」を愛する心を育てています

千種小学校



5月以降新型コロナウイルス感染症が第5類になったのを契機に、学校においても行事や体験活動等実施できるようになりました。学校では、マスクを外した子どもたちの笑顔を見ることができたり、あたりまえに近寄って話したりすることができました。この1学期大きな事故や怪我なく子どもたちが過ごせたのも、ご家庭、地域の皆様の温かい見守りとお支援のおかげです。本当にありがとうございました。2学期もどうぞよろしくお願いいたします。

☆町内合同オープンスクール (5/20)☆

併設型小中一貫校「千種学園」としてスタートし、2年が経過しました。恒例の小中合同オープンスクールでは、小学生と中学生が交流する時間を増やした授業を行いました。中学生が優しく温かく小学生に関わってくれ、特に小学生が楽しみにしていた休み時間には、9年生がリーダーとなって全校生に鬼ごっこを呼びかけ、あたり前のように遊んでくれました。継続した繋がりの大切さを感じた幸せな時間でした。



☆七夕会 (7/6)☆

日本には幸せなことに4つも楽しめる季節があり、それぞれに応じた行事が今なお大事にされ、風情を楽しむ情緒が育まれています。本年度も地域の方からいただいた笹に全校生で願い事を書き、七夕集会を行いました。4年生が七夕の由来の劇を披露し、全校生は鑑賞しながら織り姫と彦星に想いを馳せました。



季節を感じられ、全校生みんな同じ場所で時を過ごせることが、やっと戻ってきたと思うと感慨深いものがありました。



千種中学校

【7年生 小中高連携美化活動】

小中高連携美化活動で、千種町のカーブミラーを磨いたり地域のゴミ拾いを行いました。

ピカピカになったミラーにVサインを行っています。カーブミラーを見られたら、千種の子どもの姿を思い浮かべてください。きっとピースをしなくなると思います。



【8年生 数学・理科甲子園ジュニア 穴粟市予選会】

数学・理科甲子園ジュニア大会穴粟市予選会に出場しました。見事に予選を通過し8月18日に行われた兵庫県大会に出場しました。穴粟市の壮行会・結団式では、兵庫代表になって全国大会に出場すると意気込んでいました。



【9年生 オープンハイスクール（千種高等学校）】

夏休みに千種高等学校のオープンハイスクールに参加しました。高校での学習や部活動について話を聞いたり、体験したりしました。進路達成に向けての意識づけがしっかりとできたようです。日々頑張っていきますので、応援よろしくお願いします。

わ
れ
ら
ち
く
さ
っ
子

千種高校

★第49回千種高校文化祭

コロナ禍が終息後、初の開催となり一般公開も行われました。生徒一人一人の顔が見え、思いがいっぱい詰まった個性輝く文化祭となりました。



★祝！全国大会出場

全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会出場	小松 煌
全日本高校生ピストル射撃競技選手権大会出場	藤原 絆照
全国パソコン技能競技大会	佳良賞 田口 恭子



★ちくさ地域力UPプロジェクト(小中高合同田植え)

今年も地域住民と連携して「食」や「生命」に関わる取組みを通じて豊かな心を育みます。

地域の方にご指導を頂きながら水の管理や草引きを地道に行い、順調に生育しています。





宍粟市地域おこし協力隊
まつした ゆきひろ
松下幸広 37歳



宍粟市地域おこし協力隊に着任して今年の11月で3年が経ちます。活動するようになったきっかけは、農業に携わりながら地域を活性化したいという思いを持っていた頃に知り合いの紹介で千種町に実際に足を運び、豊かな自然環境(特に水)に魅力を感じたからでした。現在は自身で作る野菜と地域生産者の野菜を神戸や大阪の飲食店に卸すことや、地域特産品を市外でPR・販売するイベントの場を作ることで少しでも多くの方に千種町を知ってもらえるように活動しています。協力隊の任期を終えた4年目以降も引き続き生産・販売・イベント主催を通じてたくさんの方と関わりながら千種町に定住します。昨年千種町に来てから授った長男も1歳になりました。家族4人とともに今後もよろしくお願い致します。



【有機栽培・自然栽培の畑】



【宍粟市特産品マルシェの様子 トヨペット西脇店】



【1歳を迎えた長男 かいと海士くん】



近畿卓球選手権大会 ベスト8

去る7月17日、宝塚市総合体育館で【全日本卓球選手権大会 兵庫県予選会】が行われました。岩野辺の徳久阪 朗さん(42)が、マスターズの部に初めて挑戦し、見事5位入賞を果たされました。

予選会で入賞した徳久阪さんは、兵庫県の代表として9月8日~10日にロートアリーナ奈良で開催された【第62回近畿卓球選手権大会】に出場されました。男子フォーティ(40M)は、各府県予選通過者56名によるトーナメント方式。県予選の勢いそのままに1回戦・2回戦と勝ち進み、昨年ベスト4のシード選手との3回戦でも、得意のフォアカウンターを繰り出し、3-2で勝利を掴みました。兵庫チャンピオンを倒した選手に準決勝で敗れはしましたが、初のチャレンジで<近畿大会ベスト8>と大健闘し、来年度の出場権を獲得しました。



徳久阪さんは、宍粟市を中心に市内外のメンバーで構成されたチーム『Ambush』に所属し、週一回、山崎東中学校体育館などで練習されています。



前号の「ちくさえとこ通信」でも紹介しましたが、徳久阪さんは毎週火曜日『千種TTC』でコーチもされています。ぜひ、お気軽にご参加ください。



※男子フォーティ(40M)・・・40歳以上、1984年4月1日以前に生まれた者。

ペンリレー 第14回

山田 恭弘さん 

Q 自己紹介

山田恭弘 41歳です。

Q お仕事は何をされていますか？

はやし林業に勤めています。

Q 趣味は？

ドライブや魚釣り。最近は鮎の友釣りにはまっています。

Q 何をしている時が一番楽しいですか？

友達と趣味の話をしてしながら食事している時です。

Q 夢は何ですか？

友釣りの大会で優勝して名人になる事かな。

Q 千種町への思いは？

いつまでも自然豊かな町、美しい緑の町であってほしいです。

Q 次回の紹介者は？

鷹巣の谷本まきさんです。

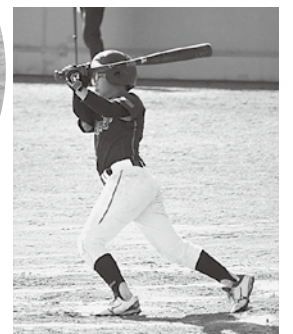


佐用ワーフジュニア

☆全国選抜学童軟式野球大会 ベスト4☆ 

下河野の鎌田剛毅くん（千種小5年）が所属している「佐用ワーフジュニア」が、【プライドジャパン全国選抜学童軟式野球大会】に出場し、大健闘しました。（全国から選抜された32チームを4チームずつの8グループに分けて総当たり戦を行い、各グループの1位のみが決勝トーナメントへ）

予選リーグを3勝0敗と堂々の1位通過。鎌田くんも、物部少年野球団（滋賀県）との対戦で左中間フェンスを越えるホームランを放ったり、辰巳ハニーズ（千葉県）戦では途中からピッチャーとして好投するなど、予選リーグ突破に貢献しました。



決勝トーナメントの初戦は、強豪の大阪オールスターズ Jr.（大阪府）戦。予選リーグの勢いをそのままに8対1で勝利し、準決勝に進出しました。相手は、昨年の覇者、オール富山少年野球クラブ（富山県）。最終回には先頭打者としてセンター前ヒットを放つ粘りを見せましたが、1対9で惜敗。（オール富山が連覇）しかし、「全国大会ベスト4」は、チーム始まって以来の快挙です。

鎌田くんは、「2年連続の全国大会は、先輩たちに連れてきてもらいました。来年は自分たちの力で、悲願の全国制覇を果たしたい！」と熱く語ってくれました。



第3回ちくさえとこ未来会議 開催!

2023. 8. 20

千種まちづくり推進委員会と千種連合自治会とが連携して、令和2年度に「まちづくりアンケート」を実施しました。コロナ禍で様々なことが制限された状況でしたが、これまでにアンケート報告会や交流会、意見交換会などを重ねてきました。今回は、第3回ちくさえとこ未来会議として、高校生から80歳代まで、約60名の方が参加してくださって、意見交換も大盛況でした。

最初に、穴栗市の担当者から「穴栗市における協働のまちづくりの動き」について、今年3月に策定された「参画と協働のまちづくり指針」の内容を交えながら説明がありました。現在、千種と繁盛がモデル地区としての取り組みを進めています。



※穴栗市参画と協働のまちづくり指針

その後、これまでの取り組みについてのスライドショーを見ながら、みんなで振り返りました。1回、2回と重ねた「ちくさえとこ未来会議」から生まれた活動は、少しずつですが確実に今につながってきています。千種高校生を支援する動きや農業に関すること、空き家をどうにかしたいという動きやフリマの開催といった趣味でつながる活動などを共有することにより、今後、活動が広がっていくことを望んでいます。

後半は、メインの意見交換会。参加者が8つの班に分かれて、同じテーマについてそれぞれの意見を出し合いました。意見交換のテーマは、『千種地域は、どんなまちづくりを目指すのか?』。意見交換で出された意見などは、今後、「ちくさえとこネッ!と」にアップしていきますので、そちらをご覧ください。



※ちくさえとこネッ!と

【今後の動き】

未来会議で出された意見をアンケート活用委員で集約し、「まちづくり計画書」にまとめていきます。同時に<NEW まち推>の組織体制について各種団体とも連携しながら、検討を進めていきます。

年度内には、「第4回ちくさえとこ未来会議」の開催を案内させていただきたいと思えます。ぜひ、ご参加ください。



【編集メンバー募集】

「まちづくり計画書」を作るための編集メンバーを募集します。まちづくりに関心のある方、編集に興味のある方のお申し込みをお待ちしております。(締切：9月末)

※ちくさえとこセンター ☎0790-71-0230



【ええとこフリマ】

9月19日(火) 15~17時、
大通り広場(栄々人來)で開催します!
ぜひ、お越しください。

(出店者も受付中)

千種少女バレーボールクラブ

☆兵庫県大会3位☆

近畿大会出場☆



千種市民局や JA ハリマ千種支所に掲げていた懸垂幕を見られた方も多いと思いますが、『千種少女バレーボールクラブ』の快挙です！

宍粟市大会優勝、西播大会で3位に入賞し、2年連続で県大会に駒を進めました。そして、6月に兵庫県立総合体育館（西宮市）で開催された【全日本バレーボール小学生大会 兵庫県大会】は、各地区の予選大会を勝ち抜いた24チームによるトーナメント方式で行われ、子どもたちの快進撃が続きました。準決勝で県大会連覇を果たした石海 JVC に敗れましたが、昨年のベスト8を超える＜3位入賞＞を果たし、創部以来初の近畿大会出場を決めました。

【近畿小学生バレーボール大会】は、9月2日～3日に大浜 だいしんアリーナ（大阪府堺市）で開催され、夢の大舞台をブロック戦1勝1敗と健闘しました。

平瀬キャプテンは、「初めての近畿大会は、大きな会場でみんな緊張しました。初戦は負けてしまいましたが、とてもよくして2試合目は全員が『絶対に勝つぞ！』という気持ちで挑み、必死にプレーして勝つことが出来ました。次の近畿大会にも必ず出場したいです！」と語ってくれました。

子どもたちにとって貴重な経験であるとともに、この話題は地域に大きな力を与えてくれました。おめでとう＆ありがとう♡



♡ こんにちは 赤ちゃん ♡

赤ちゃん写真大募集！

新しい可愛い家族を紹介してください。



河 呂 山田 りゅう 龍ちゃん



山田 ひな 陽生ちゃん



河 内 林 はるま 春守ちゃん

【メッセージ】 産まれてきてくれてありがとう！元氣いっぱい兄妹仲良く育てね。

(父：築さん 母：莉里さん)

【メッセージ】 ボクの自慢は、ぶっついムクムの足。毎日、キックの練習できているのだ。

(父：和典さん 母：クレアさん)

